

海外の人が驚く日本の常識

URL: https://youtu.be/_jIE-R4JeYk

今回は「海外の人が驚く日本の常識」を学びながら、日本語を勉強しましょう。
この動画は、前半は少しゆっくりのスピードで、漢字には " ふりがな " があります。
後半は少しだけ速く (+20%) なり、漢字に " ふりがな " はありません。
学習にお役立てください。

■ 自己紹介

私の名前はマリアです。私はフランスから来ました。職場の同僚が日本旅行の話をしてくれたことで、日本に興味を持つようになりました。その話では、日本の街はとてもきれいで、安全だと聞きました。また、日本の文化や食べ物についても興味があり、行ってみたいと思いました。

今回の旅行は、初めての日本です。旅行期間は2週間で、東京と京都に行く予定です。旅行の前に、インターネットで観光地やおすすめの食べ物をたくさん調べました。特に、寿司やラーメンを楽しみにしていました。

日本に到着したとき、私は空港でとても驚きました。空港のスタッフがとても親切で、はっきりとした声で話してくれました。荷物を受け取るときも、スタッフがお辞儀をして「ありがとうございます」と言ってくれました。このような対応は、私の国ではあまり見られないものです。日本の人々は本当に礼儀正しいと感じました。

さらに、空港の中がとてもきれいで驚きました。どこを歩いてもゴミが落ちておらず、トイレもきれいで使いやすかったです。旅行の初日から、日本の文化に触れることができ、とても感動しました。これからの旅行がますます楽しみになりました。

■いらっしゃいませ

日本を訪れて初めて入ったお店は、東京のカフェでした。ドアを開けると、店員さんが大きな声で「いらっしゃいませ！」と言ってくれました。その声はとても明るくて、元気な印象でした。この一言だけで、「歓迎されている」と感じ、とても気持ちがよかったです。

店員さんは笑顔で私を迎えてくれました。そして、席に案内するときも、とても丁寧に「こちらどうぞ」と言ってくれました。私の国では、店員さんが笑顔を見せることは少なく、特に大きな声で挨拶をすることはあまりありません。このような対応は、とても新鮮で驚きました。

さらに、カフェの中はとても静かで落ち着いた雰囲気でした。他のお客さんも静かに話していて、店内全体がきちんとした印象を受けました。これも、私には少し驚きでした。私の国では、カフェはもう少しにぎやかな場所だからです。

日本のお店では、「いらっしゃいませ」という挨拶だけでなく、全体の雰囲気や店員さんの態度がとても特別に感じられました。この経験は、私が日本の文化にもっと興味を持つきっかけになりました。

■接客中の礼儀正しさ

日本での食事の際、接客の丁寧さに何度も驚かされました。レストランで注文したとき、店員さんが私の注文を繰り返して確認してくれました。注文の間違いないように心配りをしているのだと感じました。こうした対応は、私の国ではあまり見られないので、とても新鮮でした。

料理が届くときも、店員さんは「お待たせしました」と言いながら、私のテーブルにそっと置いてくれました。その時、料理を置く音がほとんどしないことに驚きました。静かで丁寧な対応は、私を特別なお客さんのように感じさせてくれました。

また、支払いのときにも、店員さんが「ありがとうございました」とお辞儀をしてくれました。笑顔で深く頭を下げる姿を見て、日本では「感謝」をととても大切にしているのだと気づきました。私の国では、お辞儀をする文化はありません。支払いの際は簡単な「ありがとう」だけで済ませることが多いので、この違いはとても興味深いものでした。

日本の接客がここまで丁寧なのは、相手を尊重する文化が根付いているからだと思いました。日本では、お客さんとお店の間に信頼や思いやりがあると感じます。こうした文化を知ることができたのは、とても良い経験でした。

■ チップがないのに高いサービス

日本に来る前、私は旅行先での食事や食べ物の際にチップを用意するのが普通だと思っていました。ですが、日本ではチップが不要だと知り、とても驚きました。特に、レストランやタクシーでの丁寧なサービスを受けた後でも、追加でお金を渡す必要がないのは不思議でした。

私の国では、チップは義務ではありませんが、チップがサービスの質を決めることがあります。良いサービスを受けた場合、多めにチップを渡します。逆に、サービスが悪い場合は少なくすることもあります。しかし、日本ではどんな場合でもサービスが丁寧で、店員さんは笑顔で接してくれました。チップがなくても、こんなに高いサービスが受けられるのはどうしてだろうと考えました。

その答えは、日本の「おもてなし」の文化にあるのだと思います。「おもてなし」とは、相手を思いやり、喜んでもらうために全力を尽くすことです。お金をもらうから丁寧にするのはなく、相手に気持ちよく過ごしてもらうことが目的なのです。この考え方は、私にはとても新鮮で感動的でした。

また、日本ではチップを渡そうとしても、店員さんが受け取らないことがあると聞きました。チップを受け取ることは、仕事の一部としてのサービスを否定するような行為だと考えられるからです。このような文化の背景を知り、日本のサービス精神の深さに感心しました。

チップがないのに、これほどのサービスを受けられるのは、日本ならではの魅力だと思います。

■ユニークな発見

日本での旅行中、私はたくさんのユニークな発見をしました。その中でも特に印象に残っているのが、食品サンプルとタクシーの自動ドアです。どちらも私の国にはないものだったので、とても驚きました。

まず、食品サンプルについてです。レストランの入り口に置かれている食品サンプルは、本物の料理とそっくりで、見ただけで何が注文できるかすぐに分かります。私は日本語があまり得意ではないので、メニューを見ても料理のイメージがわかりにくいことがありました。しかし、食品サンプルを見て「これを食べたい!」とすぐに選べたので、とても助かりました。さらに、その完成度の高さに感動しました。まるで本物の料理がそこに置かれているようで、写真よりも分かりやすいと思いました。

次に、タクシーの自動ドアです。日本でタクシーに乗るとき、ドアが自動で開きました。私は最初、そのことを知らずに、自分でドアを開けようとしてしまいました。そのとき運転手さんが「ドアに触らないで」と教えてくれました。降りるときも自動でドアが開き、荷物を持ってスムーズに降りることができました。この仕組みは、とても便利だと思いました。

さらに、日本の日常生活には他にも驚きがたくさんありました。例えば、電車が時間通りに来ること、道がとても清潔なこと、そして夜でも安心して歩ける治安の良さです。これらの特徴は、私が日本の生活をもっと知りたいと思う理由になりました。

■ 安全で快適な街並み

日本^{にほん}で過^すごしてみ^て、一^{いち}番^{ばん}安^{あん}心^{しん}した^のは治^ち安^{あん}の良^よさ^{です}。夜^{よる}遅^{おそ}く街^{まち}を歩^{ある}いてい^ても怖^{こわ}い^{かん}と感^{かん}じ^るこ^とが^あり^ませ^んで^した。私^{わたし}の国^{くに}では、夜^{よる}に出^で歩^{ある}く^ときは注^{ちゅう}意^いが^{ひつ}要^{よう}な場^{ばしょ}所^{おほ}も^に多^にい^はん^どう^すが、日本^{にほん}では安^{あん}心^{しん}して移^い動^{どう}する^ことが^でき^まし^た。これはと^とて^も快^{かい}適^{てき}な経^{けい}験^{けん}で^した。

旅^{りょ}行^{こう}中^{ちゅう}、私^{わたし}は駅^{えき}の近^{ちか}くで財^{さい}布^ふを落^おとし^てし^まい^まし^た。その^きこ^とに気^きづ^いた^とき、と^とて^も焦^{あせ}り^まし^た。し^かし、交^{こう}番^{ばん}に行^いく^と、誰^{だれ}か^が財^{さい}布^ふを届^{とど}けて^くれ^てい^まし^た。中^{なか}身^みも^もの^もま^まで、と^とて^も驚^{おどろ}き^まし^た。日本^{にほん}では、落^おとし^た物^{もの}が^{たか}く^かく^確率^{りつ}で^もち^ぬ主^{しゅ}に^もど^き返^{かえ}る^と聞^きき^まし^たが、自^じ分^{ぶん}で体^{たい}験^{けん}し^てみ^て、本^{ほん}当^{とう}に^おも^いと^いい^まし^た。

また、街^{まち}が^とて^もき^れい^なの^{いん}象^{しょう}的^{てき}で^した。ど^あこ^をを^ある^ても^おゴ^みミ^が落^おち^てお^らず、公^{こう}共^{きょう}のト^とイ^いレ^れも清^{せい}潔^{けつ}で使^しい^やす^かっ^たで^す。清^{せい}掃^{そう}が^いき^と届^{とど}い^てい^るだ^けで^なく、街^{まち}を^{つか}う^ひと^びと^もき^れい^に保^{たも}つ^い意^い識^しを^も持^もっ^てい^るの^だと^{おも}い^まし^た。こ^れも、日本^{にほん}の素^す晴^はら^いしい文^{ぶん}化^かの^いっ^ぱい^だと^{かん}じ^まし^た。

さ^らに、公^{こう}共^{きょう}交^{こう}通^{つう}機^き関^{かん}の便^{べん}利^りさ^にも驚^{おどろ}き^まし^た。電^{でん}車^{しゃ}やバ^じス^かン^どは時^じ間^{かん}通^どり^に来^くる^ので、ス^ケジ^ュール^を立^たて^やす^かっ^たで^す。駅^{えき}やバ^てス^い停^{てい}の案^{あん}内^{ない}板^{ばん}もわ^かり^やす^く、初^はじ^めて^の私^{わたし}で^も安^{あん}心^{しん}して使^{つか}え^まし^た。こ^のよ^うな環^{かん}境^{きやう}は、観^{かん}光^{こう}客^{きゃく}に^とっ^ても^おお^たす^けに^なり^ます。

日本^{にほん}の安^{あん}全^{ぜん}で快^{かい}適^{てき}な街^{まち}並^なみは、旅^{りょ}行^{こう}者^{しゃ}に^とっ^て特^{とく}別^{べつ}な経^{けい}験^{けん}で^す。た^くさ^んの^{ひと}人^にこ^の魅^{めい}力^{りき}を^し知^ちっ^てほ^しい^とい^いま^した。

■接客から学んだ日本の価値観

日本での接客を通して、私は多くのことを学びました。特に印象的だったのは、店員さんの礼儀正しさや丁寧な言葉遣いです。どんな場面でも、店員さんが笑顔で「ありがとうございます」と言ってくれることに感動しました。その一言で、私も自然と「ありがとう」を返したくなる気持ちになりました。

日本では、お辞儀もとても大切にされています。商品を受け取るときや支払いが終わったとき、店員さんは深くお辞儀をします。この動作には、相手への感謝や敬意が込められていると感じました。私の国では、このように体を使って気持ちを伝える文化はありません。そのため、初めて見たときは驚きましたが、同時にとても素敵だと思いました。

また、日本の接客では「お客さま第一」という考え方が強く感じられます。店員さんは、商品の説明や注文の確認など、細かい部分にも気を配っています。これにより、お客さんは安心して買い物や食事を楽しむことができます。こうした接客の背景には、相手を思いやる文化があるのだと思いました。

この経験を通して、私も日常生活で他の人にもっと感謝を伝えたいと思うようになりました。例えば、家族や友人に対して「ありがとう」と言葉で伝えるだけでなく、小さな行動で感謝の気持ちを表すことを意識するようになりました。

日本の接客から学んだ価値観は、私のこれからの生き方にも良い影響を与えてくれると思います。

■旅行で得た気づき

今回の日本旅行を通して、私はたくさんのことを学びました。まず、日本の「おもてなし」の精神に触れたことで、相手を思いやる大切さを改めて実感しました。お店の店員さんや街で出会った人々が、いつも丁寧で親切だったことは、私にとって忘れられない経験です。

また、日本の街が清潔で安全であることに驚きました。夜に出歩いても安心してできる環境や、おとし物が戻ってくることは、私の国では考えられないことです。これらは、日本人一人ひとりが他人や公共の場所を大切にすることが強いからだと感じました。

さらに、食事や買い物の際にチップがいらないことも、非常に新鮮な体験でした。日本では、お金ではなく、丁寧な接客や笑顔で感謝を伝える文化があると知り、心が温かくなりました。この考え方は、私の国とは違いますが、とても素晴らしいと思いました。

旅行中、私は食品サンプルや自動ドアなど、日常生活の中にあるユニークな発見にも多く出会いました。それらは便利で実用的でありながら、日本の文化や考え方を感ずるものでした。これらの体験を友人や家族に伝え、日本の魅力を共有したいと思いました。

日本旅行は、自分自身の考え方を見つめ直す良い機会となりました。旅行を終えた今、また早く日本に行きたいと思っています。次回は、さらに多くの地域を訪れ、日本の文化や人々との交流を楽しみたいです。この素晴らしい体験をして、本当に良かったと思います。

「海外の人が驚く日本の常識」はいかがでしたか。
コメント欄から感想をみんなに教えてください。
それでは、また別の動画でお会いしましょう。



Japanese-listening-SUSHI